

日誌 (昭和42年3月)

【国内】

- 3日 ○本行、外国為替手形の売買相場算定に適用する割引率を引下げ(前月号「要録」参照)
○政府、昭和42年度税制改正要綱を閣議決定
- 6日 ○本年度日ソ貿易協定モスクワで調印
○外国為替公認銀行、米ドル建輸入ユーザンス金利の最高限度を引下げ(前月号「要録」参照)
- 13日 ○本行、外国為替手形の売買相場算定に適用する割引率を引下げ(前月号「要録」参照)
○政府、「昭和42年度の経済見通しと経済運営の基本的態度」を閣議決定(前月号「要録」参照)
- 14日 ○第2回日韓経済合同懇談会、ソウルで開催(15日まで)
○外国為替公認銀行、米ドル建輸入ユーザンス金利の最高限度を引下げ(前月号「要録」参照)
- 17日 ○政府、昭和42年度一般会計暫定予算案を閣議決定(前月号「要録」参照)
- 18日 ○本行、外国為替手形の売買相場算定に適用する割引率を引下げ(「要録」参照)
- 20日 ○外国為替公認銀行、英ポンド建現地貸金利の最低限度を引下げ(「要録」参照)
- 23日 ○本行、外国為替手形の売買相場算定に適用する割引率を引下げ(「要録」参照)
○外国為替公認銀行、米ドル建輸入ユーザンス金利の最高限度を引下げ(「要録」参照)
- 27日 ○外国為替公認銀行、英ポンド建輸入ユーザンス金利の最低限度を引下げ(「要録」参照)
- 31日 ○政府、昭和42年度地方財政計画を閣議了承(「要録」参照)

【海外】

- 1日 ○米議会、1967年度中の国債発行限度の引上げ(3,300億→3,360億ドル)を承認
- 5日 ○第2回東南アジア中央銀行総裁会議、バギオで開催
- 8日 ○ウイリソン英首相のEEC6か国歴訪終わる
- 9日 ○ジョンソン米大統領、投資免税および特別償却制度の繰上げ復活を議会に要請
○ガット貿易交渉委員会、ケネディ・ラウンド交渉の最終期限を4月30日と決定
○西ドイツ政府、クルップ社に対する金融難救済措置発表
○スウェーデン、公定歩合を5.5%から5.0%へ引下げ(10日から実施)
- 13日 ○アルゼンチン、ペソの公定レートを約40%切下げ(1米ドル=245~255→350ペソ)
○EEC産業連盟(UNICE)、米国資本の欧州進出に対する覚書を発表
○英蘭銀行、中央銀行間スワップ取決め延長を発表
- 14日 ○オランダ、公定歩合を5.0%から4.5%へ引下げ(15日から実施)
- 15日 ○ブラジル大統領にコスタ・エ・シルバ元帥就任(前大統領カステロ・ブランコ)
○欧州石炭鉄鋼共同体、西ドイツの鉄鋼販売カルテル(4社)の設立を認可
- 韓国、ガット加盟議定書に署名(4月14日発効)
- 16日 ○英蘭銀行、公定歩合を6.5%から6.0%へ引下げ
○ブンデスバンク、市中金利規制撤廃について同意(4月1日から実施)
- 17日 ○ジョンソン米大統領、議会に対し商務省と労働省の統合提案延期を表明
- 20日 ○米政府首脳、ベトナム問題に関する会議をグム島にて開催(21日まで)
○韓国に対するIMFスタンプ・クレジット増額(12百万→18百万ドル)
- 22日 ○フランス、高金利禁止措置実施を決定(29日から実施)
○ベルギー、公定歩合を5.00%から4.75%へ引下げ(23日から実施)
○香港、預金金利協定を一部改定
- 23日 ○モーガン・ギャランティ・トラスト、プライム・レートを5¼%から5½%へ引下げ(他行追随)
- 28日 ○西ドイツ、経済専門委員会、景気振興策の早期実施を勧告
- 29日 ○関税一括引下げ(ケネディ・ラウンド)に関する高級会議、ジュネーブにて開催
○ジョンソン米大統領、連邦準備制度理事会議長にマーチン議長長の再任を決定
- 31日 ○フランス、証券取引法の一部改正決定